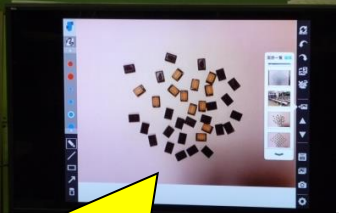

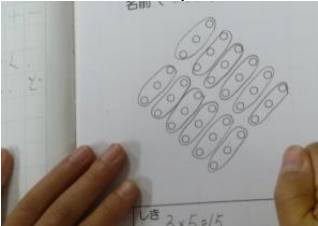
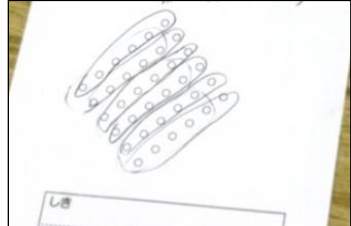
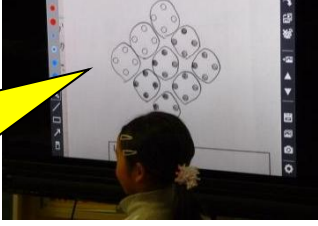


## <テーマ> ICTを活用して個の考えを共有する取組（気仙沼市立気仙沼小学校）

### 【取組の概要】

児童がノートに記述した内容を机間指導で見取り、意図的に指名してタブレットを使って大型テレビに投影する。どこに注目すればよいかを明確にすることで、聞いている児童も発言する友達の考えをよく考えて聞くことができるようにする。

主な学習過程	発問・指示 児童の活動
<p>1 問題場面をつかむ。</p>  <p>問題場面を視覚でも捉えさせるために大型テレビに投影する。</p>	<p>T「先生ね、昨日チョコレートを買ったんだけど、何個あるか数えようと思って全部箱から出してみたの。」</p> <p>C「いっぱいあるね。これじゃあ何個あるか数えるの大変だよ。」</p> <p>C「しかも裏返しになってるチョコもあるじゃん！」</p> <p>C「もうちょっときれいに並べたら数えやすくなるのにな・・・。」</p> <p>T「どうやったら数えやすくなるんだろう。みんなで考えてみよう！」</p> <p>↓</p> <p>投影した写真を見て児童が発言した気づきや疑問を基に本時の課題を設定する。</p> <p>チョコレート数をすぐに数える方法を考えよう！</p>
<p>2 学習課題を設定する。</p> <p>3 解決の見通しを持つ。</p>	<p>C「せめてもうちょっときれいに並んでたらな～。」</p> <p>C「そうだよ。それなら九九が使えるんだけどね。」</p> <p>T「もしかして、〇〇くんの言ってることって、こういうこと？」</p> <p>C「そうそう！これだよ！」</p> <p>C「これなら九九を使って数えられそうだよね。」</p> <p>C「ぼくは表と裏を別々に数えてみようかな。」</p>  <p>児童の反応を想定してタブレットで事前に撮影しておく。</p>
<p>4 自力解決を試みる。</p>  	<p>児童のノートやワークシートを机間指導で声を掛けながら撮影し、全体で共有する場面で投影する。</p> <p>↓</p>
<p>5 考え方のよさを共有する。</p> <p>タブレットは担任が操作し、発表を聞いている児童に注目させたいポイントに赤や青で印を付けていく。</p> 	<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師が何度も指示を繰り返したり、説明し過ぎたりすることが少なくなり、児童が自分の力で主体的に学ぶことが多くなった。</li> <li>○聞いている側の児童が、友達の考えを理解しようとしながら聞くように変容した。</li> </ul>